

🏸 第50回記念 全国高等学校選抜バドミントン大会🏸

競技審判上の注意

【全般的な事項】

- この大会は、(公財)全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び令和3年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程並びに同公認審判員規程により行います。
- 審判はすべて大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗・個人対抗ともに準決勝よりつけるものとします。
その他の試合においては原則として付けません。
- 選手は会場に到着したら必ず「受付」を済ませてください。
- 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
- 試合の進行状況に応じて、試合番号が変わることがあるので、放送には十分に注意してください。
- 試合を連続して行う場合のインターバルは次の通りです。
〈学校対抗〉学校対抗が連続する場合は30分とします。
〈個人対抗〉個人対抗(単・複)が連続するときは20分とします。
- 各試合(マッチ)のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中、一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認めます。
(選手は20秒前にはコートに入ってください。)
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。
(選手は20秒前にはコートに入ってください。)
- インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど1人です。主審の「(コート番号)20秒」のコールでコートから離れてください。なお、コーチングシートは、1席のみ設けます。
- 個人対抗戦(シングルス)において、試合開始前の練習(2分以内)は、対戦相手と行ってください。
シャトルはお互いに持ち寄って練習してください。
- 試合(マッチ)中の水分補給、汗ふきなどは主審の許可を必要とします。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。
また、試合(マッチ)中のラケットやシャトル交換後の試打はできません。
○タオル・ラケット・水分補給用のボトル等は、コートサイドに持参した自分のバッグに入れてください。
○容器は倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用してください。
○氷嚢をコーチングシートで管理する場合、保冷バッグなどに入れ、保管してください。
- サービスの遅延行為に関しての判定は主審が行います。
- 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
- 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。(競技規則第16条)
○息切れなど体力回復の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
○主審の許可なしにコートを離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対しての横柄な振舞い、下品で無礼な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振舞い。
- 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。
(背面の文字は明確に判読できるもの)
- 競技中の怪我や病気については、主審が判断します。必要ならレフェリーを呼び、レフェリーの判断に従うことになります。
- 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対して疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では当該選手と監督、コーチ、個人対抗では当該選手に限ります。(監督、コーチは「IDカード」を必ず付けてください。)
- 選手は試合終了後、コロナウィルス感染拡大防止対策のため、選手同士や審判員と握手はしないこと。
- 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにしてください。また、競技フロア内での携帯電話の使用は一切認めません。
- 試合中にモバイル機器を使用したアドバイス・コーチングを受けることを禁止します。
- その他は、監督会議資料および連絡事項に準じます。

競技審判上の注意

[学校対抗に関する事項]

- 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。
- 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封してあります。次回戦以降は主審より直接手渡します。
- オーダー用紙は、5枚複写で記入し、(1) (2) (3) (4) は提出し、(5) は自校で保存します。
- オーダー用紙は、オーダー交換所に提出して下さい。なお、対戦校立合いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守をお願いします。なお、タイムテーブル1巡目は8:40とします。2巡目からのオーダー交換は、放送でお知らせします。
- 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無い時には「棄権」とします。
- 試合開始前、エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5~7名）は、放送の指示で指定のコート上に集まってください。主審に向かって右側に若番のチームがはいってください。
- 団体ベンチは設けません。
- 試合開始の練習は、トス後、主審の指示で各マッチ（試合）毎に2分間行ってください。なお、当初から2コート以上を用いて試合をする場合も同様に、マッチ（試合）の開始前に2分間行ってください。
- マッチ（試合）は、1回戦より2~3コート並行して行います。その際、同一選手が連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
- マッチ（試合）は、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。
- 対抗戦の勝敗が決定したら、チーム全員でのあいさつは行わず、最終試合の選手同士がチームを代表してあいさつをし、主審の指示により、勝利チームから退場をしてください。

[個人対抗に関する事項]

- 選手の変更は、いかなる場合でも認められません。
- 選手は、放送の指示で指定のコートに集まってください。
- 試合開始前の練習は、トス後、主審の指示に従い、同時に2分間とします。
シングルスの場合は、対戦相手と行い、練習で使用するシャトルは感染拡大防止対策のため、お互いに持ち寄って使用してください。
- 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、主審の指示により、勝者から退場してください。

[一般上の注意]

- 競技会場の開場は、8時10分です。しかし、25日については、監督会議資料〈練習について〉をよくお読みください。
- 競技者は会場到着後、必ず「検温・受付」を済ませてから、入場してください。
- 競技会場では、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別をつけてください。
- 競技フロア内での飲食は禁じます。但し、「競技審判上の注意、全般的な事項10」に関わることのみ認めます。また、クーラーボックスなどのフロアへの持ち込みは禁止します。
- 部旗、応援旗を使用する際には、競技に支障のないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従って撤去して下さい。
- 応援の際、競技に支障をきたすないように配慮をお願いします。太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援は禁止します。競技に支障があるとレフェリーが判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処します。
- フラッシュ・ストロボ等を用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。
- ゴミは各自で責任を持って処理し、持ち帰ってください。「来た時よりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
- 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
- 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
- 競技会場では2階より上の観覧席に着席し、応援する場合は、席は移動せずに、着席のうえ拍手のみで応援してください。